

指 示

令和 6 年 1 月 1 0 日  
特事指 2024-1

令和 6 年分扶養親族等申告書の再勧奨

情報提供先	相談センター <input checked="" type="checkbox"/>	社労士会 <input checked="" type="checkbox"/>	健保協会 <input type="checkbox"/>	機構健保 <input type="checkbox"/>
-------	--	--	-------------------------------	-------------------------------

目的・趣旨	令和 6 年分扶養親族等申告書（以下「申告書」という。）を提出していない者に対し、再勧奨を実施します。
指示の内容	<p>1 再勧奨の実施</p> <p>日本年金機構からターンアラウンド申告書を送付している者のうち、提出期限までに申告書を提出していない者に対しては、提出漏れを防ぐため、例年、ターンアラウンド申告書送付の翌年 2 月に再勧奨用の申告書を送付し、再勧奨を実施しています。</p> <p>本年は、早期にお客様に申告書の提出を再確認いただき、未提出者を削減し、電子申請による提出につなげるため、2 月の再勧奨用申告書の送付に先立ち、令和 6 年 1 月にも、再勧奨の案内をマイナポータルのお知らせ又はねんきんネットのお知らせメールにより送信します。</p> <p>また、2 月の再勧奨用申告書の送付に併せて、再勧奨の案内をマイナポータルのお知らせ又はねんきんネットのお知らせメールにより送信します。</p> <p>詳しくは別添 1 を参照してください。</p> <p>2 再勧奨の実施日</p> <p>（1）令和 6 年 1 月 15 日（月）</p> <p>マイナポータルのお知らせ又はねんきんネットのお知らせメールを送信します。</p> <p>（2）令和 6 年 2 月 9 日（金）</p> <p>再勧奨用の申告書を送付し、併せてマイナポータルのお知らせ又はねんきんネットのお知らせメールを送信します。</p> <p>3 申告書の提出期限</p> <p>令和 6 年 2 月 29 日（木）</p> <p>上記までに提出した申告書（申告内容に不備がある申告書を除く。）は令和 6 年 2 月支</p>

	<p>払に遡って源泉徴収税額の再計算を行い、還付が発生する場合は令和 6 年 4 月支払で所得税還付を行います。</p> <p>4 Q &amp; A（別添 2 参照）</p> <p>Q &amp; A を作成しましたので、お客様対応の参考としてください。</p>
（注意点）	<p>1 行き違いで再勧奨が送付される場合があります。既に提出済みである場合は、再度の提出は必要ありません。</p> <p>2 申告書の提出が必要な場合は、提出期限を過ぎても、なるべく早く提出するよう案内してください。処理を行った支払月において、令和 6 年 2 月支払に遡って源泉徴収税額の再計算を行います。</p>
別添資料	<p>【別添 1】令和 6 年分扶養親族等申告書の再勧奨</p> <p>【別添 2】令和 6 年分扶養親族等申告書の再勧奨に係る Q &amp; A</p>

「要報告」の場合	
報告期限	—
報告先	—

テレビ解説対象 ☐

## 令和6年分扶養親族等申告書の再勧奨

令和6年1月10日  
特定事業部

1. 扶養親族等申告書の再勧奨の実施

(1) 概要

日本年金機構からターンアラウンド扶養親族等申告書（以下「申告書」という。）を送付している者のうち、提出期限までに申告書を提出していない者に対しては、提出漏れを防ぐため、例年、ターンアラウンド申告書送付の翌年2月に再勧奨用の申告書を送付し、再勧奨を実施しています。

本年は、早期にお客様に申告書の提出を再確認いただき、未提出者を削減し、電子申請による提出につなげるため、2月の再勧奨用申告書の送付に先立ち、令和6年1月にも、再勧奨の案内をマイナポータルのお知らせ又はねんきんネットのお知らせメールにより送信します。

また、2月の再勧奨用申告書の送付に併せて、再勧奨の案内をマイナポータルのお知らせ又はねんきんネットのお知らせメールにより送信します。

(2) 全体スケジュール

	令和5年					令和6年		
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
TA申告書（紙） の発送	申告書作成	▼ 発送（9/14～10/6） TA申告書発送（年次分）	▼ 提出期限（10/末） TA申告書発送（月次分）	▼ 提出期限（11/末）		申告書作成	▼ 発送（2/9） TA申告書（再勧奨）	▼ 提出期限（2/末）
マイナポータルへ のお知らせ等 による個別周知	▼ 電子申請 サービス開始（9/13） ▼ 電子申請 個別周知（年次分） マイナポータル開設者全員へ周知	▼ 電子申請 個別周知（月次分）				▼ 電子申請 個別周知（再勧奨） 1/15	▼ 電子申請 個別周知（再勧奨） 2/9	

## 2. 扶養親族等申告書の再勧奨 (令和6年1月実施)

### (1) 再勧奨の対象者

以下の全ての条件に該当する者が対象となります。(一部送付対象外あり。詳細な条件はP10を参照。)

- ・ 令和5年9月～10月の令和6年分申告書の送付対象者である。
- ・ **令和5年10月31日 (火)**までに紙の申告書の提出がない。
- ・ **令和5年12月14日 (木)**までに電子申請による申告書の提出がない。
- ・ 令和5年12月14日 (木)時点で老齢年金が死亡失権、死亡保留又は原簿取消となっていない。

※紙の申告書は事務の都合上、受付情報が作成されるのに時間を要するため、電子申請とは受付期日が異なりますので、注意してください。

### (2) 再勧奨のお知らせ

上記 (1) の条件に該当する者について、以下のお知らせを送信します。

	お知らせの種類	対象者	実施時期	お知らせの特徴
①	マイナポータルの お知らせ (認証連携済者分)	上記 (1) 対象者のうち、 認証連携済者 (※) <b>66,355件</b>	<b>令和6年1月15日 (月)</b>	お知らせの中に「申請」ボタンを設け、 認証連携済みの者はお知らせから直接、 ねんきんネットの申告書作成画面に遷移 できます。
②	ねんきんネットの お知らせメール	上記 (1) 対象者のうち、 認証未連携者、かつ、 ねんきんネットID有、かつ、 メールアドレス登録有者 (※) <b>190,077件</b>	<b>令和6年1月15日 (月)</b>	

※ねんきんネットが使用できない旧法年金受給者 (旧公社 (JR・JT・NTT) 及び農林共済の記録が機構に移管された旧法退職年金受給者は除く。) は除きます。

①マイナポータルのお知らせ

4

②ねんきんネットのお知らせメールの内容 (案)

件名	【ねんきんネット】 (令和6年分) 公的年金等の受給者の扶養親族等申告書の再度のお知らせ
本文	<p>ねんきんネットご利用者様 日本年金機構の「ねんきんネット」をご利用いただき、ありがとうございます。</p> <p>令和6年分の「公的年金等の受給者の扶養親族等申告書」 (以下「申告書」という。) を提出をされていない方へ再度お知らせします。</p> <p>※紙の申告書で提出している方については、令和5年10月31日時点の受付状況を基にお知らせしています。既に提出済みの方は行き違いですので、再度の提出は不要です。</p> <p>【扶養親族等申告書の提出が必要な方】 老齢年金には所得税がかかります。配偶者や扶養親族がいる方や、ご本人が障害者等に該当する方は、「扶養親族等申告書」を提出すると、所得税の控除を受けることができます。</p> <p>【扶養親族等申告書の提出は電子申請が便利です】 スマートフォン等で電子申請できるようになりました。電子申請すれば紙の申告書を郵送する手間も切手代も不要です。ご利用のためには、マイナポータルからねんきんネットの利用登録が必要です。詳しくは日本年金機構ホームページをご確認ください。</p> <p>【書面のご案内について】 電子申請された場合は、書面の提出は不要です。令和6年分を電子申請された場合は、令和7年分は書面のご案内はいたしません。</p> <p>【マイナポータルからの利用登録方法】 マイナポータルからの利用登録方法については、日本年金機構のホームページをご覧ください。 (<a href="https://www.nenkin.go.jp/n_net/registration/mynaportal.html">https://www.nenkin.go.jp/n_net/registration/mynaportal.html</a>) ※ このメールアドレスは、配信専用です。本メールに返信をいただいても回答ができません。 ※ ご家族やご親族などで同一のメールアドレスを登録されている場合は、複数の方へのご案内が同一メールアドレスへ配信される場合があります。メールアドレスの変更を希望される場合は、ねんきんネットへログイン後、「各種設定を変更する」からお手続きください。</p>

### 3. 扶養親族等申告書の再勧奨 (令和6年 2 月実施)

#### (1) 再勧奨の対象者

以下の全ての条件に該当する者が対象となります。(一部送付対象外あり。詳細な条件はP10を参照。)

- ・ 令和5年9月～11月の令和6年分申告書の送付対象者である。
- ・ **令和5年12月8日 (金)**までに紙の申告書の提出がない。
- ・ **令和6年1月23日 (火)**までに電子申請による申告書の提出がない。
- ・ 令和6年1月23日 (火)時点で老齢年金が死亡失権、死亡保留又は原簿取消となっていない。

#### (2) 再勧奨のお知らせ

上記 (1) の条件に該当する者について、以下のお知らせを送信します。


	お知らせの種類	対象者	実施時期	お知らせの特徴
①	マイナポータルの お知らせ (認証連携済み分)	上記 (1) 対象者のうち、 認証連携済み者 (※)	<b>令和6年2月9日 (金)</b>	お知らせの中に「申請」ボタンを設 け、認証連携済みの者はお知らせか ら直接、ねんきんネットの申告書作 成画面に遷移できます。
②	ねんきんネットの お知らせメール	上記 (1) 対象者のうち、 認証未連携者、かつ、 ねんきんネットID有、かつ、 メールアドレス登録済み者 (※)	<b>令和6年2月9日 (金)</b>	
③	紙の申告書一式	上記 (1) の対象者のうち、前年 (令和5年) 分 の申告書を提出している者等 (上記①②の対象 を含む。) 詳しくはP10を参照。	<b>令和6年2月9日 (金)</b>	送付物は (4) 及び別紙を参照。
④	勧奨ハガキ	上記 (1) の対象者のうち、前年 (令和5年) 分 の申告書を提出していない者 (上記①②の対象 を含む。上記③の対象を除く。) 詳しくはP10 を参照。	<b>令和6年2月9日 (金)</b>	申告書の提出によって受けることが できる控除がない可能性が高いため、 申告書一式は送付せず、勧奨案内の ハガキのみを送付します。

※ねんきんネットが使用できない旧法年金受給者 (旧公社 (JR・JT・NTT) 及び農林共済の記録が機構に移管された旧法退  
職年金受給者は除く。) は除きます。



### (3) マイナポータル等のお知らせの内容

①マイナポータルのお知らせ(認証連携者分)の内容(案)

	<div>  <div> <div>マイナポータル</div> <div>現在位置</div> </div> <div> <div>メインメニュー</div> <div>お知らせ詳細</div> </div> </div> <div> <div> <div>●</div> <div>メインメニュー</div> </div> <div> <div>👤</div> <div>使い方</div> </div> <div> <div>🔍</div> <div>よくある質問</div> </div> <div> <div>💬</div> <div>お問い合わせ</div> </div> <div> <div>📄</div> <div>ログアウト</div> </div> </div> <div> <div>👤</div> <div>ようこそ マイナさん</div> </div> <div>画面番号:F-02</div> <div>マイナポータルの機能</div>
件名	<p>【日本年金機構からのお知らせ】(令和6年分)公的年金等の受給者の扶養親族等申告書の再度のお知らせ</p> <p>令和6年分の「公的年金等の受給者の扶養親族等申告書」(以下「申告書」という。)を提出をされていない方へ再度お知らせします。 ※紙の申告書で提出している方については、令和5年12月8日時点の受付状況を基にお知らせしています。既に提出済みの方は行き違いですので、再度の提出は不要です。</p> <p>【扶養親族等申告書の提出が必要な方】 老齢年金には所得税がかかります。配偶者や扶養親族がいる方や、ご本人が障害者等に該当する方は、「扶養親族等申告書」を提出すると、所得税の控除を受けることができます。</p> <p>【扶養親族等申告書の提出は電子申請が便利です】 スマートフォン等で電子申請できるようになりました。電子申請すれば紙の申告書を郵送する手間も切手代も不要です。詳しくは下部の「関連ページ」の「マイナポータルを利用した電子申請（扶養親族等申告書）（日本年金機構ホームページ）」をご確認ください。</p> <p>電子申請は、このお知らせの下部にある「申請」ボタンから、簡単にお手続きをすることができます。</p> <p>【書面のご案内について】 書面による申告書の提出方法についても郵送でご案内いたしますが、電子申請された場合は、書面の提出は不要です。 令和6年分を電子申請された場合は、令和7年分は書面でのご案内はいたしません。</p>
差出人	日本年金機構
受信日時	(マイナポータルでの受信日時)
保存期限	(お知らせを機構から送付した日の7年後)
添付書類	
関連ページ	<a href="#">マイナポータルを利用した電子申請（扶養親族等申告書）（日本年金機構ホームページ）</a> <a href="#">年金Q&amp;A（日本年金機構ホームページ）</a>

②ねんきんネットのお知らせメールの内容 (案)

件名	【ねんきんネット】 (令和6年分) 公的年金等の受給者の扶養親族等申告書の再度のお知らせ
本文	<p>ねんきんネットご利用者様</p> <p>日本年金機構の「ねんきんネット」をご利用いただき、ありがとうございます。</p> <p>※紙の申告書で提出している方については、令和5年12月8日時点の受付状況を基にお知らせしています。既に提出済みの方は行き違いですので、再度の提出は不要です。</p> <p>【扶養親族等申告書の提出が必要な方】</p> <p>老齢年金には所得税がかかります。配偶者や扶養親族がいる方や、ご本人が障害者等に該当する方は、「扶養親族等申告書」を提出すると、所得税の控除を受けることができます。</p> <p>【扶養親族等申告書の提出は電子申請が便利です】</p> <p>スマートフォン等で電子申請できるようになりました。電子申請すれば紙の申告書を郵送する手間も切手代も不要です。ご利用のためには、マイナポータルからねんきんネットの利用登録が必要です。詳しくは日本年金機構ホームページをご確認ください。</p> <p>【書面のご案内について】</p> <p>電子申請された場合は、書面の提出は不要です。令和6年分を電子申請された場合は、令和7年分は書面でのご案内はいたしません。</p> <p>【書面のご案内について】</p> <p>書面による申告書の提出方法についても郵送でご案内いたしますが、電子申請された場合は、書面の提出は不要です。令和6年分を電子申請された場合は、令和7年分は書面でのご案内はいたしません。</p> <p>【マイナポータルからの利用登録方法】</p> <p>マイナポータルからの利用登録方法については、日本年金機構のホームページをご覧ください。  <a href="https://www.nenkin.go.jp/n_net/registration/mynportal.html">https://www.nenkin.go.jp/n_net/registration/mynportal.html</a></p> <p>※ このメールアドレスは、配信専用です。本メールに返信をいただいても回答ができません。</p> <p>※ ご家族やご親族などで同一のメールアドレスを登録されている場合は、複数の方へのご案内が同一メールアドレスへ配信される場合があります。メールアドレスの変更を希望される場合は、ねんきんネットヘロガイ後、「各種設定を変更する」からお手続きください。</p>

**（4）送付物****①申告書一式を送付する対象者**

送付物は以下のとおりです。令和5年9月～11月に送付したのから変更している様式と同じ様式があります。

	送付物	令和5年9月～11月に送付したのから変更している様式	令和5年9月～11月に送付したものと同じ様式（※1）
ア	令和6年分扶養親族等申告書（※2）	—	【特事指2023-7】【別添1】（別紙1）
イ	大切なお知らせ（再度のお知らせ）	別紙1	—
ウ	扶養親族等申告書作成と提出の手引き	—	【特事指2023-7】【別添1】（別紙3）
エ	電子申請のお知らせ（※3）	—	【特事指2023-7】【別添1】（別紙4）
オ	返信用封筒	別紙2	—
カ	送付用封筒	レイアウトは別紙3、音声コードの内容は別紙4	—

※1：レイアウトは令和5年8月30日【特事指2023-7】※「令和6年分扶養親族等申告書に係る事務処理」の別添1を参照してください。

※2：印刷している宛先住所、氏名等は令和5年9月～11月に送付したものと同じであり、9月～11月送付以降の変更は反映していません。

※3：ねんきんネットが使用できない旧法年金受給者（旧公社（JR・JT・NTT）及び農林共済の記録が機構に移行された旧法退職年金受給者は除く。）には同封しません。

**②勸奨ハガキを送付する対象者**

送付物：勸奨ハガキ（レイアウトは別紙5、音声コードの内容は別紙4）（※4）

勸奨ハガキの送付対象者が紙の申告書の提出を希望する場合、令和5年9月～11月に送付した申告書をそのまま使用するよう案内してください。申告書を所持していない場合は【特事指2023-7】※の別添1の別紙7で示している手書き用申告書を使用してください。電子申請であれば紙の申告書が手元になくとも提出可能なので、電子申請の利用を推奨してください。

※4：勸奨ハガキの宛先住所、氏名等は令和5年9月～11月に送付した申告書と同じであり、9月～11月送付以降の変更は反映していません。

4. 扶養親族等申告書の再勧奨対象 (詳細)

申告書の状況		再勧奨対象	
		マイナポータルのお知らせ ねんきんネットのお知らせ メール対象	TA申告書の送付対象
9月～11月の申告書の送付対象者			
令和6年分申告書提出なし (※ 1)			
前年 (令和5年分) 申告書の提出あり			
前年の申告内容が、配偶者・扶養親族等あり又は本人障害・寡婦等該当あり		お知らせ送信	再勧奨用 TA申告書一式
前年の申告内容が、配偶者・扶養親族等なしかつ本人障害・寡婦等該当なし			
以下のいずれかに該当する		お知らせ送信	再勧奨用 TA申告書一式
・ 受給者本人に障害年金の受給権がある (※ 2)			
・ 対象の老齢年金に加給金対象者の登録がある			
・ 対象の老齢年金に配偶者の基礎年金番号が登録されており、その配偶者が生存している			
上記のいずれにも該当しない		送信対象外 (※ 3)	送付対象外 (※ 3)
前年 (令和5年分) 申告書の提出なし			
前年の老齢年金が非課税対象 (又は老齢年金なし)		お知らせ送信	再勧奨用 TA申告書一式
前年の老齢年金が課税対象			
受給者本人に障害年金の受給権がある (※ 2)		お知らせ送信	再勧奨用 TA申告書一式
上記以外		お知らせ送信	勧奨ハガキ (※ 4)

※1：申告書が返戻となり、その後再提出がない者も含む。

※2：障害年金は支給停止、保留又は差止中の場合も含む。失権済は含まない。

※3：前年（令和5年）に「配偶者・扶養親族等なし、かつ、本人障害・寡婦等該当なし」で申告書を提出した者は、前年から変更がなければ提出の必要がないため、再勧奨対象外とする。ただし、以下のいずれかに該当する者については、申告書の提出により基礎控除以外の控除を受けることができる可能性があるため、再勧奨対象とする。

- ①障害年金の受給権がある = 障害者控除に該当する可能性がある。
- ②加給金対象者がいる = 配偶者控除・扶養控除に該当する可能性がある。
- ③配偶者の生存が確認できる = 配偶者控除に該当する可能性がある。

※4：前年（令和5年）に老齢年金が課税対象であるにもかかわらず、申告書を提出せず、本年分（令和6年）も引き続き提出がない者は、申告書の提出によって受けることができる控除がない可能性が高いため、申告書一式は送付せず、勧奨案内のハガキのみを送付する。ただし、障害者（障害年金の受給権がある者）については、丁寧な対応が必要と考えられるため、申告書一式を送付する。

【扶養親族等申告書を提出していただいていない方へお送りしています】

## 大切なお知らせ(再度のお知らせ)

申告書の提出が必要か**もう一度確認**をお願いします

下記の図で提出が必要かご判断ください

提出すると老齢年金受給の際に該当する控除が受けられます

(1)ご本人が障害者または  
寡婦・ひとり親<sup>(※1)</sup>に該当  
しますか？

該当する

### 提出が必要

提出することで、受給されている  
老齢年金から徴収される所得税と  
翌年の個人住民税で該当する控除  
が受けられます。

該当しない

(2)控除対象となる  
配偶者または扶養親族<sup>(※2)</sup>  
がいますか？

いる

### 提出が必要

提出することで、翌年の個人住民税  
で該当する控除が受けられます。

いない

(3)扶養している配偶者または  
扶養親族に退職手当を  
受ける見込みの方<sup>(※3)</sup>  
がいますか？

いる

### 提出が必要

提出することで、翌年の個人住民税  
で該当する控除が受けられます。

いない

スマートフォン等で提出すれば紙の提出は不要

※スマートフォン等での提出が可能な方には別途ご案内のチラシを同封しています。

該当する控除を受けるためには前年申告からの変更  
の有無に関わらず、毎年提出が必要です。

### 提出が不要<sup>(※4)</sup>

前年に申告書を提出している場合でも、提出は不要です。

同封の「作成と提出の手引き」をご覧ください。必要はありません。

※1：障害者、寡婦・ひとり親の要件については、同封の手引きの5ページをご覧ください。

※2：年間所得見積額が配偶者は95万円以下、扶養親族は48万円以下の方に限ります。

※3：退職所得を除いた年間所得見積額が配偶者は95万円以下、扶養親族は48万円以下の方に限ります。

※4：提出の有無に関わらず、所得税率は一律、5.105%となります。

切手を貼ってください

杉並南郵便局留

日本年金機構

令和6年分申告書 受付担当 行

119 - 0314

カスタマーバーコード記載欄

扶養親族等申告書をスマートフォンやパソコンで電子申請すれば、  
郵送等の手間や切手代が不要です。

(差出人)

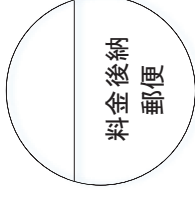
住 所

氏 名



## 年金の受給額に影響のある書類です。 必ずご覧ください。

最初に同封の「大切なお知らせ」(再度のお知らせ)をご覧ください。  
スマートフォン等で電子申請すれば、郵送等の手間や切手代が不要です。



## 重要書類 在中



**日本年金機構**  
Japan Pension Service

〒168-8505  
東京都杉並区高井戸西3丁目5番24号

開封前にあて名をご確認ください。

お届け先のご住所に、現在、受取人の方がお住まいでない場合には、お手数をおかけしますが、  
開封せず、「誤配」等と封筒にご記入いただき、そのままポストに入れてください。

ご提出にあたりご不明な点は、『扶養親族等申告書相談チャット』  
または『扶養親族等申告書お問い合わせダイヤル』へ！

お届け先のご住所に、現在、受取人の方がお住まいでない場合には、お手数をおかけしますが、開封せず、「誤配」等と封筒にご記入いただき、そのままポストに入れてください。

ご提出にあたりご不明な点は、『扶養親族等申告書相談チャット』  
または『扶養親族等申告書お問い合わせダイヤル』へ！

①『扶養親族等申告書相談チャット』

<https://www.nenkin.go.jp/>

日本年金機構

検索

\* 日本年金機構ホームページでは、扶養親族等申告書に関するよくあるお問い合わせに自動でお答えする相談チャットを開設しています。24時間いつでも対応していますので、右記の二次元コードよりぜひご利用ください。

<https://www.nenkin.go.jp/service/seidozenpan/chatbot.html>

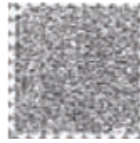
二次元  
コード

②『扶養親族等申告書お問い合わせダイヤル』 0570-081-240 (ナビダイヤル)

お問い合わせの際は、年金証書等、基礎年金番号の分かるものをご用意ください。

050から始まるお電話でおかけになる場合は (東京) 03-6837-9932

※市外局番を省略する等、電話番号間違いが発生しています。先頭の「03」を省略しないよう、ご注意ください。



※このマークは音声コードです。  
目の不自由な方も封筒情報を  
音声で聞くことができます。

重要な書類が同封されています。開封時に  
同封物を切断しないようご注意ください。

**「令和 6 年分扶養親族等申告書送付用封筒（再勧奨）」及び「令和 6 年分扶養親族等申告書再勧奨ハガキ」の音声コード（専用読取装置、携帯電話、スマートフォン対応型）の本文**

あなた様から令和6年分扶養親族等申告書をご提出いただいています  
ん。

扶養親族等申告書は、令和6年分にお支払いする年金から源泉徴収さ  
れる所得税を計算するための重要な書類です。

ご提出が必要かどうか、もう一度確認をお願いします。提出が必要な方  
は令和6年2月29日までに提出してください。すでにご提出されている方  
は、行き違いのため再度、ご提出いただく必要はありません。

内容や申告書の提出に関するお問い合わせは、扶養親族等申告書お  
問い合わせダイヤルへお電話ください。

電話番号は、0570-081-240 です。くり返しお伝えします。

電話番号は、0570-081-240 です。

また、お客様の電話番号が 050 から始まる場合は、東京、03-6837-  
9932 にお電話ください。

お問い合わせの際は、ご本人様確認のため、基礎年金番号をお伺いし  
ますので、あらかじめご用意ください。

また、お近くの年金事務所にお越しいただければ、書類の読み上げや  
提出のご案内などのお手伝いをさせていただきます。

## 再勧奨案内ハガキレイアウト

### 【外面】

扶養親族等申告書を提出いただいていない方へ  
再度のお知らせをお送りします。

扶養親族等申告書の提出が必要な方は  
**令和6年2月29日(木)**までに提出してください。  
ご提出いただくと後日、さかのぼって所得税を  
再計算します。

スマートフォン等から扶養親族等  
申告書の提出ができます。  
詳しくは日本年金機構ホームページ  
をご覧ください。  
[https://www.nenkin.go.jp/tokusetsu/denshi\\_fuyo.html](https://www.nenkin.go.jp/tokusetsu/denshi_fuyo.html)

QR

郵便はがき

料金後納  
郵便

親展

ご提出にあたりご不明な点は、  
『扶養親族等申告書相談チャット』または『扶養親族等申告書お問い合わせダイヤル』へ！

1. 一般的・定型のご照会

『扶養親族等申告書相談チャット』へ

[https://www.nenkin.go.jp/service/seidozenpan\\_chatbot.html](https://www.nenkin.go.jp/service/seidozenpan_chatbot.html)

日本年金機構ホームページでは、扶養親族等申告書に関するよくあるお問い合わせに自動で  
お答えする相談チャットを開設しています。

24時間いつでも対応していますので、上の二次元コードよりぜひご利用ください。

日本年金機構ホームページでは、扶養親族等申告書の具体的な記入方法、扶養親族等申告書に  
関するQ & Aや、お近くの年金事務所の所在地などもご覧いただけます。

2. 個別・具体的のご照会

『扶養親族等申告書お問い合わせダイヤル』へ

**0570-081-240** (ナビダイヤル)

※お問い合わせの際は、年金証書等、基礎年金番号のわかるものをご用意ください。

※050から始まる電話でおかけになる場合は (東京) **03-6837-9932**

通常の通話料金がかかります。

市外局番を省略する等、電話番号間違いが発生しています。先頭の「03」を省略しないようご注意ください。

お問い合わせ時間：月曜日 午前8:30～午後7:00

火～金曜日 午前8:30～午後5:15 (月曜日が祝日の場合は、翌日以降の開所日初日に午後7:00まで)

第2土曜日 午前9:30～午後4:00

※土日、祝日(第2土曜日を除く)、12月29日～1月3日はご利用いただけません。

扶養親族等申告書に関する再度のお知らせ



差出人

**日本年金機構**  
Japan Pension Service

〒168-8505

東京都杉並区高井戸西

三丁目5番24号

**開封前にあて名を  
ご確認ください。**



このお知らせを受け取った方が、あて名記載の  
受取人でない場合は、開封せず、「誤配」  
と記入し、郵便ポストに投函してください。

ご案内は内側にあります。  
・矢印の方向へゆっくりはがしてご覧ください。  
・水にぬれている場合は、よく乾かしてから開いて  
ください。

XXXX XXXX XXXX

## 再勧奨案内ハガキレイアウト

## 【内面】

【扶養親族等申告書を提出いただいていない方へお送りしています】

## 大切なお知らせ(再度のお知らせ)

## 扶養親族等申告書の提出が必要かもう一度確認をお願いします。

下記の図で提出が必要かご判断ください。提出すると老齢年金受給の際に該当する控除が受けられます。

(1) ご本人が障害者または  
寡婦・ひとり親(※1)に  
該当しますか？

該当する

## 提出が必要

提出することで、受給している  
老齢年金から徴収される所得税  
と翌年の個人住民税で該当する  
控除が受けられます。

該当しない

(2) 控除対象となる  
配偶者または扶養親族(※2)  
がいますか？

いる

## 提出が必要

提出することで、翌年の個人住民税  
で該当する控除が受けられます。

いない

(3) 扶養している配偶者または  
扶養親族に退職手当を  
受ける見込みの方(※3)  
がいますか？

いる

いない

## 提出が不要(※4)

スマートフォン等から扶養親族等  
申告書の提出ができます。

マイナポータルからねんきんネットを利用  
している方は、扶養親族等申告書が  
スマートフォンやパソコンで電子申請  
できます(一部の年金は電子申請の  
ご利用はできません)。

電子申請すれば紙の申告書を郵送する  
手間も切手代も不要です。

詳しくは日本年金機構  
ホームページをご覧  
ください。

QR

[https://www.nenkin.go.jp/tokusetsu/denshi\\_fuyo.html](https://www.nenkin.go.jp/tokusetsu/denshi_fuyo.html)

すでに提出済みである場合は行き違いですので、再度の提出は不要です。

紙の扶養親族等申告書の提出を希望する方で、令和5年9月～11月にお送り  
した用紙がお手元にある場合は、その用紙・封筒を使用して提出してください。  
お手元に用紙がない場合は、日本年金機構ホームページから用紙を入手する  
ことができますほか、お近くの年金事務所の窓口にも備え付けてあります。

音声コード

※1:障害者、寡婦・ひとり親の要件は申告書に同封の手引きをご覧ください。日本年金機構ホームページにも掲載しています。

※2:年間所得見積額が配偶者は95万円以下、扶養親族は48万円以下の方に限ります。

※3:退職所得を除いた年間所得見積額が配偶者は95万円以下、扶養親族は48万円以下の方に限ります。

※4:提出の有無にかかわらず、所得税率は一律、5.105%となります。

※上のマークは音声コードです。  
目の不自由な方にこの通知書に關する  
情報を音声でご案内するものです。

## 令和 6 年分扶養親族等申告書の再勧奨に係る Q &amp; A

問 1 なぜお知らせ（申告書・再勧奨案内ハガキ）が送られてきたのか。

（答）

源泉徴収の対象となる者に対して、令和 5 年 9 月以降に令和 6 年分の扶養親族等申告書（以下「申告書」という。）を送付し、提出をお願いしてきたところです。この度は申告書を提出されていない者に対して、提出漏れがないよう、再度のお知らせをお送りしたものです。

問 2 申告書を提出する必要があるのか。

（答）

配偶者控除や扶養控除、障害者控除等を受けようとする際は申告書の提出が必要です。一方で、提出されなかった場合でも、所得税率は一律で 5.105% であり、基礎控除相当の控除は受けることができます。

したがって、以下に該当する場合は、再勧奨対象であっても、申告書の提出は必要ありません。

- ・ 控除対象となる配偶者・扶養親族がいない者
- ・ 受給者本人が障害者、ひとり親（寡婦）に該当しない者
- ・ 退職手当を受ける配偶者・扶養親族がいない者
- ・ 翌年の確定申告により控除を受ける者

問 3 既に申告書を提出しているが、今回送付された申告書を再提出する必要があるのか。

（答）

既に申告書を提出済みの方は行き違いですので、再度の提出は不要です。

問 4 申告書を提出した場合、徴収税額はどうなるのか。

（答）

提出していただいた申告書の記載内容に基づいて、令和 6 年 2 月支払分に遡って、令和 6 年分の所得税の源泉徴収税額の再計算を行います。再計算の結果、徴収税額に還付が発生する場合があります。

問 5 提出期限までに提出しないとどうなるのか。

（答）

提出期限後であっても、再提出していただいた申告書に基づき徴収税額の再計算を行います。その結果、税額を還付する場合、提出が遅れると還付が行われる時期が遅れることになります。

問 6 以前に送付された申告書を持っているが、今回送付された申告書と以前送付された申告書、電子申請のどれで提出すればよいか。

（答）

電子申請で提出いただいた場合は、紙の申告書は提出不要です。

紙の申告書は、前回お送りした申告書と同じものを再度作成してお送りしていますので、紙の申告書を提出する場合は、どちらの申告書を提出していただいても構いません。

問 7 再勧奨案内ハガキが送付されたが、以前に送付された申告書は廃棄してしまった。紙の申告書を提出するにはどうすればよいか。

（答）

電子申請であれば帳票を入手する必要がなく提出できますので、電子申請をご利用ください。紙の申告書での提出を希望される場合は、日本年金機構ホームページから申告書用紙をダウンロードできます。お近くの年金事務所にも用紙が備え付けてあります。

問 8 受給者は死亡しているが、申告書の提出は必要か。

（答）

受給者本人が既にお亡くなりになっている場合は、申告書の提出は不要です。



問 9 住所変更や氏名変更を行ったが、紙の申告書が変更前の住所（氏名）で送付されているのはなぜか。

（答）

今回の再勧奨は前回お送りした申告書と同じものを再度作成してお送りしています。前回の対象情報抽出後に住所・氏名等の変更があった場合は変更前の記載で送られます。

紙の申告書を提出する場合は、受給者本人の氏名を記入する必要がありますが、氏名を変更されている者は、変更後の氏名で記入いただき、申告書裏面「摘要」欄に氏名変更済みである旨を記入してください。

電子申請により提出する場合は、受給者本人の氏名・住所は入力項目ではありませんので、変更前の氏名・住所のまま提出してください。

※扶養親族等申告書の提出によって受給者の氏名、住所の変更はできません。

受給者の氏名、住所の変更が必要であるお客様には、別途変更の手続きを案内してください。